



読者のひろば

Readers' Square

BABY

わが家の天使

こんにちは赤ちゃん



とみた くらら ちゃん
(広崎3町内)

愛嬌がとっても良いくら
らさん♡
お姉ちゃんが大好き♡

パパ 徹也さん ママ ひさえさん



こだま こうめい くん
兒玉 倅明 くん
(惣領3町内)

おじいちゃん、たくさん
かわいがってくれてあり
がとう。パパっ子な倅明
くんです♡

パパ ただあきさん ママ あきさん



しまだ こう くん
島田 暁 くん
(小 峯)

お姉ちゃんたちに遊んで
もらいながら元気に育っ
てます。

パパ ひろあきさん ママ えりさん



うちやま けいと くん
内山 慶人 くん
(惣領4町内)

じいじ・ばあばいつもた
くさんかわいがってくれ
てありがとう♡

パパ ひろとしさん ママ ゆうこさん

益城の文化財
町文化財保護委員会



小池秋永

秋永の弥生土偶



この土偶は昭和4年、秋永の耕地整理の時に出てきたものです。それを今の御船高校に届けられ、保存してあります。この土偶は割れていたのを原型に修復されています。この土偶は益城にとって、大変珍しく、貴重な「もの」です。

土偶は何のために造られたのでしょうか。関係図書で調べてみました。

梅原猛氏は『日本の深層』という著書の中で、次のように特徴を書いております。

- 1 妊婦をかたどっている。
- 2 奇妙な顔をしている。
- 3 腹には線が入れてある。

4 すべて割られている。

5 人を葬るように、ていねいに葬られている。

秋永土偶はこの特徴にあてはまると思うのです。また土偶は、何のために造られたのだらうという疑問が湧いてきます。

土偶は「呪術や祈り」に関係してきたものと考えられています。梅原氏は「妊婦が胎児と共に、あの世へ無事に行き、また、生まれ変わってこの世に無事に帰ってきてほしいという願いを込めて葬ったのだらう」と述べておられます。宗教礼儀のようです。

最近の『歴史読本』で千田稔氏の報告書に秋永の土偶は「乳房に入れ墨とみられる文様がある。入れ墨は海洋民たちの記号である」と書いておられます。町史18頁の地図では、秋永の出土地は標高五米の海岸であることがわかります。海洋民渡来の地とも考えられます。また、秋永遺跡からは多くの「もの」が発掘されています。鎌研ぎ場の石神(男根信仰)は今もあります。阿瀬美長者伝説も残っています。

参考文献 『益城町史 通史編』、『日本の深層』、『歴史読本』ほか